

足立区立入谷中学校  
校長 小出 泰隆 様

足立区立入谷中学校 開かれた学校づくり協議会

## 令和5年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

#### 3つの「重点的な取り組み事項について」

##### 「学校評価アンケート集計結果より」全般について

- コロナも5類に移行し、今年度は例年に沿う教育活動を実施することができました。本校の課題である小規模校による人的資源の不足は、校長先生のリーダーシップにより、保護者や地域の方々の理解と協力をいただきながら、教職員の意欲を引き出す適宜適切な対応策によって、良い学校経営がされています。
- 特に学校経営に関するアンケートの各項目について、肯定的な意見が、R3年度は97%、R4年度は95%、今年度は96%と、引き続き高い評価が得られたことは、経営方針が本校の実態に即したものであり適正であると考えます。

##### 重点的な取組事項－1 「基礎学力の定着と課題解決力の育成」

- アンケート項目「入谷中は、学力向上（授業・補習）に積極的に取り組んでいる」では、保護者の肯定的回答が、昨年度93%、今年度は94%であり、放課後「わくわくプロジェクト」、NTB（入試対策部）での先生方の指導の賜物であると思います。
- 課題である「こどもは家庭学習にとりくんでいる」の質問項目では、AIドリルを家庭学習として取り組ませたことにより、昨年度は75%と飛躍しましたが、今年度はAIドリルの活用を期間限定としたためか64%と下がりました。
- 「授業は、生徒にとってわかりやすく工夫されている」の質問項目では、昨年92%が今年94%と上昇傾向となり、教員の意欲的な指導が、生徒の素直で前向きな学習姿勢に繋がっていると推察します。

##### 重点的な取組事項－2 心の教育

- 年3回の教育相談期間や、3年生校長面接、開かれた学校づくり協議会協賛による3年生個人面接などにより、自分を改めて見直し、よいところを認め合い、互いに学び合いができる学年づくりがなされそれが、都立推薦合格率R3年度75%、昨年と同様今年度も65%と、本年も近隣校に類を見ない数字に結びついているといえます。

##### 重点的な取組事項－3 国際的・文化的・健康的な教育の充実（豊かに生きる生徒の育成）

- 「学校行事は生徒がいきいきと参加している」の項目でも、昨年92%から今年度93%と向上しています。これは運動会や学習発表会等、学校行事を通して、生徒一人ひとりの活躍の場、豊かに生きる生徒の居場所づくりのために、全教員で取り組んでいるという姿勢が評価されていると考えます。更に生徒会活動として全員参加の「花いっぱい運動」や全校生徒の3/4が参加する「ゴミゼロ運動」の活動が、生徒のボランティア精神の育成に繋がっていると考えられます。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 今年度はコロナも5類に移行し、教育活動においても保護者の期待に副い、安定した信頼を得る成果が見られ、今後もその取組について継続・発展していただきたいと考えます。また、家庭学習の定着には保護者の協力が不可欠なため、粘り強い啓発を支援していきたいと思えます。
- アンケート結果からは好印象ながらも、来年度の入学予定者が減少し、全学年単学級になるとのこと。生徒・保護者からの信頼を礎に、今後も充実した教育活動の内容を更に広く地域に発信し、生徒数の確保に努め、先生・保護者・地域の方々との連携を最重視し、更なる教育活動の充実にむけて学校を支援していきます。

### 3 その他